

ブックレビュー

●チタン テクニカルガイド●
—基礎から実務まで—

岸輝雄監修, 鈴木洋夫・原田健一郎訳, 1993年9月
内田老鶴園発行(TEL03-3945-6781)
B5判 427頁, 定価(税込) 15,450円

本書は, ASM Internationalから出版されたTitanium A Technical Guideの翻訳である。著者は長年チタンの研究, 開発に取り組んできたThe Hartford Graduate CenterのMatthew J. Donachie, Jr. である。

本文は総説, チタンの紹介, チタンの冶金学, 展伸材加工, 熱処理, 機械加工, 洗浄および仕上げ, 鋳造, 粉末冶金, 接合, 力学的性質と製造方法の関係, 耐食性, 最近の進歩と将来の13章から, 付録は参考文献, 用語集, 機械加工データ, 溶加材, 記号, 腐食速度, 製造業者, 供給業者, 役務提供者の一覧表, 標準と規格, 呼称, 用途, 性能の9章から成り立っている。著者も序文で述べているようにチタンに関する現状で得られる最大の情報を盛り込もうと意図しているため, チタンに関して全ての話題が遺漏なく提供されている, いわゆるチタン・百科全書といえよう。特に付録は充実していて, 腐食速度のデータは他所に見られない。加えて各種業者一覧表は面白く思ったが, 信頼度において著者も保証していないとのことと断っているのは如何なものだろうか。それに対して規格と標準は多数の国の規格が掲載されており, 著者も自信をもって述べているように現在最も完全で最新のものであり労作といえよう。

難をいえば, 単位の統一がなされていないところが散見されるが, 改訂版にて改められることを期待する。和書, “金属チタンとその応用”が出版され10年を経過したが, チタンというユニークな素材を対象にしているだけ, 共に特徴のある本である。併読し日米のチタン感を味われることをお勧めする。
(東洋大学工学部 石川圭介)

●TQCによる経営革新への挑戦●

天野益夫著, 1993年9月
株式会社日科技連出版社発行(TEL03-5379-1244)
B6判 291頁, 定価(税込) 1,900円

本書は, 著者が愛知製鋼(株)の社長に1985年に就任後展開したTQCによる経営改革の全記録であり, TQC推進3年目(1987年)にしてデミング賞を受賞, さらに石川賞(1991年), TPM特別賞受賞(1992年)へと至る活動の全経過が紹介されている。

第一部は「TQCによる経営の革新」と題し, 著者が社長就任後100日間の内に会社の実情を把握することを目標として作成した社内部門長への130項目の質問状に始まり, 社長自らの改善計画の立案と主な改革のプロセスについて述べられている。またTQCを実践する上で心掛けた点や得られた成果などの経験や, 今後のTQCのあるべき姿に対する考え方が示されている。

第二部は「愛知製鋼におけるTQC活動」と題し, デミング賞受賞へ向けてのTQCの具体的推進について, 実施項目, 部門別展開状況などに関し, 図表を入れて实际的に紹介すると共に, デミング賞受賞後の活動, さらにTQCの一環として取り組んだTPM活動について述べられている。TQCによるトップ・管理者のもの見方, 考え方の改善強化に続いて, 主として管理者以下の実務者のハードを中心とした仕事の効率化と育成を目的にTPM活動は推進された。

著者は, TQCの推進成功のためには, トップの強力なリーダーシップの発揮が不可欠であること, これからの時代には「農耕民族的」でない「目的とする獲物がどこにいるかを見極める的確な判断」と「草原で道に迷っても確実に帰り道を探しあてる洞察力」のある「狩猟民族的」なリーダーシップこそが必要であることを説いている。不況の克服と経営の刷新が緊急の課題である今日の企業のトップはじめ各階層のリーダーに対して, 本書はリーダーシップとはいかにあるべきかについて貴重な指針を示しており, 是非熟読をお勧めしたい。
(NKK 総合材料技術研究所 栗原正好)

会議ダイジェスト

境界領域委員会

平成5年度第3回材料電磁プロセッシング分科会
開催日: 10月29日
講演「材料電磁プロセッシングの欧州における研究動向」Dr. M. Garnier (グルノーブル大学, 仏)

自動車用材料シンポジウム

開催日: 10月18日
1. 自動車用材料シンポジウム～高強度化の限界を探る～ 2. 共催: 日本鉄鋼協会, 自動車技術会 3. 講演とパネルディスカッション

編集委員会

第4回編集委員会
開催日: 10月29日

1. 長期展望検討小委員会報告 2. 平成6年度予算案の承認 3. 講演大会学生ポスターセッション設置

第7回和文会誌分科会

開催日: 10月8日
1. 創立80周年記念特集号情報ネットワーク掲載記事内容の検討 2. 「鉄と鋼」第80年第1号掲載記事決定 3. 依頼記事の決定

第7回欧文会誌分科会

開催日: 10月22日
1. 審査報告書に記載する再審査不要チェック欄の検討 2. E-mail欄設置の検討 3. Review記事執筆依頼案

育成委員会

第16回育成委員会企画小委員会

開催日: 10月26日
80周年記念事業の一環の「懸賞論文」内容の

具体化, 新企画, 6年度予算等について協議した

第3回技術講座小委員会

開催日: 10月8日
「電気炉操業技術」を白石記念講座(平成6年11月)として, 「軟磁性材料」を西山記念技術講座(155, 156回, 7年2月)に決定

平成5年度第1回鉄鋼工学アドバンスセミナー小委員会

開催日: 10月13日
当セミナー(12月15日～17日)の実施要領の詳細(宿題, 発表, テキスト等)を協議した

平成5年度第2回日方学術振興交付金選考分科会

開催日: 10月16日
第21回の受給者を4名決定した。金利低下による資金減を反映し, 次回から人数の枠を4人に減らすとともに, 年齢を40才未満とする